

君とつばさ



平成24年3月1日発行
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会
 〒102- 東京都千代田区平河町2-6-1
 0093 (電話) 03(3556)0771
 (HP) http://www.kotsuiji.com

©交通遺児育英会

自己を鼓舞する強さを

会長
清水 司



関連記事3面に
 ・心豊泰塾式
 ・卒業生のJUNJAM

卒業生に贈る言葉

“Thank You For Your Support” 忘れず

サッカー女子ワールドカップでの「なでしこジャパン」の大活躍は皆さんも記憶でしょう。観戦して、モチベーションの大切さと、その力を再認識しましたので、そのお話をしてみます。

「なでしこ」は、決勝トーナメント進出の8チームに残りはしましたが、予選リーグ最終戦では、インクランドに不甲斐なく0-2で負けています。そのインクランド戦での選手のプレーについて、佐々木監督は「だらけていた」とコメントしています。

次の準々決勝の対戦相手は開催国ドイツで、それまで1分7敗と勝ったことのない強豪です。この対戦を前にして監督は選手に「2本のビデオを見せたい」という、力みのない、シンプルな強力なモチベーションが、まるで天命のように彼女たちを支配したのでないでしょうか。

この瞬間、参加チームで最も体力に恵まれない彼女たちは、群を抜いて強力な推進エンジンを用意したのでした。

準々決勝から決勝まで、ドイツ、スウェーデン、アメリカとの連続戦で、「なでしこ」は喜々として躍動し、神がかりで、奇跡的で、信じられないような勝利を手に入れました。

それまでのステージから、はるかな高みまで彼女たちを引き上げたのには、不断の努力に加えて、大きくモチベーションの力があつたのは間違いありません。

試合後、彼女たちは、
 “Our Friends Around The World. Thank You For Your Support.” (世界中の皆さま、ご支援に感謝します)と大書した横断幕で、会場と世界のサポートに感謝のメッセージを送りました。

さて実生活では、身近にコーチや監督がいたり、職場でいい上司やライバルに囲まれたりして、モチベーションアップの手助けを受ける幸運に恵まれることもあれば、自分でやる気を起こさなければならぬことも多くあります。その場合、常識にとらわれず、自由にさまざまなアイデアで自分を鼓舞するのも、生き生き、応援ありがとうございます。

「To My Dad, Mom And Friends, Thank You For Your Support.」(お父さん、お母さん、友人たち、応援ありがとうございます)

コンビニ振り込み、銀行口座引き落とし

お薦め 寄付に便利な制度

交通遺児育英会は、2011年に相次いでスタートした寄付のための制度を積極的に活用するよう、呼びかけています。

この制度は、寄付金の送金に便利な「コンビニから送金」と「銀行口座からの引き落とし」。

コンビニ送金には、育英会発行の「専用振込用紙」が必要で、事前に担当窓口で連絡することが求められます。

また、昨年4月の公益財団法人への移行に伴い、個人の寄付金については、従来の「所得控除」に加え、「税額控除」も適用される仕組みです。

「お伽話」

油彩・カンバス

愛知県立芸術大学 3年
白井 弓子

生活状況報告書・作文 奨学金受取確認書 奨学金借用証書

急ぎ提出を

交通遺児育英会は、高校生、専修学校生、大学生、大学院生、各種学校生の奨学金を貸付している。年度末に向けて、各種書類の提出を求めている。いずれも2011年度提出期限の12月2日を過ぎており、未提出の奨学金に対し、急ぎ担当窓口あてに送るよう促している。

このうち、生活状況報告書と作文は、指導課あて。高奨生は2月下旬に、その他の奨生も同月上旬に締め切られている。未提出者は、督促が行われているが、未提出のまま放置すると、奨学金貸付が停止される場合もある。要留意。

奨学金受取確認書の提出も、同下旬に締め切られており、奨学金は書類受け付けを延長し、速やかに提出するよう求めている。

卒業予定者の奨学金借用証書は、運用上極めて重要な書類で、遅滞なく必ず提出するよう強く求めている。書類を紛失した場合、奨学金(電話フリーダイヤル0120-1521286)に連絡すれば、再発行されることがある。

学生のころ、日本育英会(当時)の奨学金を借りていた。面倒見のいい先輩がいた。たまにはお札をと、手にしたばかりの奨学金を握りしめて、少し偉くなった気分です。少し誘った。が、支払う段になって全く足りないことがわかって、先輩に窮地を救ってもらった。礼のネタをひとつ増やしただけだった。▼軽はずみを自戒した。取材で、たくさんの奨生や元奨生に会う。単なる世間知らずの貧乏学生に過ぎなかったわが身が恥づかしくなるほど、親思いが多い。▼大半が親を、多くは父親を亡くしている。そんな若者が進路を選ぶとき、親に負担をかけまい、早く独立しよう、と気遣っている。健気とも、堅実とも感じさせられる。▼3・11から間もなく1年。震災遺児が18歳になるまで、育英資金を贈り続ける育英会を知った。初年度は、すでに被災3県の1500人の遺児の手に渡ったという。募金者は、あの日を迎えるたびに、震災を思い起こし、遺児に思いを寄せながら、10年間、毎年少しずつ支援し続けることが求められている。▼交通遺児育英会は、40年以上も遺児を応援してきた。あしながおじさんが支えている。金額の多寡ではない。遺児がそこにいることを思い続ける、その心根が支えた。

新しい年が明けました。今年こそ良い年であってほしいと心から祈っております。何よもの前途ある子どもたちが、少しずつでも明るい希望を持って、大人が心がける時だと思っ

「あしながおじさんの お便り」

☆ (西東京市 T・Tさん)
 ☆ (明石市 C・Kさん)
 ☆ (三島市 R・Wさん)

希望の年祈り、勉学の一助に

☆ (東京都 M・Hさん)
 ☆ (北海道 K・Sさん)
 ☆ (南房総市 Y・Kさん)
 ☆ (松戸市 K・Kさん)

あしながおじさん募集中

☆ (宇部市 C・Nさん)

本紙は、宝くじの社会貢献広報事業として 助成を受け作成されたものです。



私の学び舎 夢の扉

長崎県立大学 国際情報学部

国際交流学科 3年

櫻井 恵さん

中学生の思い

イヤホンから絶えず響いてくる歌声が、心地よい。ビートのきいたアップテンポの曲から、スローバラードまで、寮から大学へ向かう通学バスの20分は、中国にとどろり浸る時間。張恵妹さんの中国語が、自分への応援歌に聞こえている。

張さんは、台湾のCポップ歌手。中国、香港、シンガポールなどで「アジアの歌姫」とも呼ばれる、今をときめく人気スターだ。

長崎県立大3年の櫻井恵さん(21)は、動画投稿サイト「ユーチューブ」で張さんの華やかなステージ姿を見ながら、歌に合わせて発音をなぞってみることも。自宅では海事代理士の事務所を構えていた亡父・達生さん(48、当時)のもとに、よく中国人が依頼に来ていた。翻訳ソフトの力を借りて中国語の書類作りをしていたが、うまく翻訳できな



小高い丘の上に立つ広大なキャンパスを背に

中国に首ったけ

いた。3年生の夏休みに、同県教委の中国語研修に参加して、上海外語大へ。大学も、中国への留学制度があることを確かめて、

「始めに、韓国、ロシア、モンゴルなどの留学生と一緒に、語学力を調べるテストを受けて、クラス分けされた。だから同じレベルの留学生が

「中国語は興味があつて学んでいるだけ」と、あくまでも学業の中心は中国語にある。



中国語を勉強したいという櫻井さん

いるはずなのに、自分だけ言葉がわからない。聞き取れないし、話すこともできない。ショック

母・英子さん(51)も、「好きで、やりたいことがあるなら、悔いのないようにならばいい」と、いつも応援してくれている。

留学生の気持ち

日本人同士で会っても、互いに中国語で言葉を交わ

「中国語を使った仕事に就きたい。旅行業とか、アパレル業とか。とにかく海外で働きたい。できれば中国で」

就活生の願い

「中国語を使った仕事に就きたい。旅行業とか、アパレル業とか。とにかく海外で働きたい。できれば中国で」



カンパシーション・ルームで先輩と談笑する櫻井さん(左から2人目)

「1年も留学していたのに、という気持ちで強くて……」と、だ

でもないプレッシャーを自分に向けている。

韓国の友達と、野菜や果物を売る上海の露店で買物をしているとき、「なに人か？」と訊かれた。化粧や服装で、土地の人間でない

ことはすぐわかるらしい。「日本人」と答えると、何も売ってくれなかった。韓国の友には「安くしてやるから」と、当てつけがまし

自分に向けられた、その険しい視線も言葉も、中国へ向かう真っ直ぐの情熱を、少しも冷ましはしない。

「日本をよく知らない人もいるし、すべての中国人が日本人を敵視しているわけではない。いい人もたくさんいる」

長崎県立大に

秋、思い描いた通り、交換留学生となって2度目の上海外語大通いを果たした。が、今度は何かが違

就活の季節

上海にいたころの茶髪を黒髪に戻し、母が背を押してくれた。まぶしい中国は、海のすぐ向こうにある。

宝くじは、地方自治体の公共事業等に幅広く使われています。

NEW!

ワクワク、続々。

あなたに夢を。街に元気を。



宝くじ

宝くじの収益金は、病院や検診車、図書館や動物園、災害に強い街づくり、緑あふれる公園、美術館など、皆様の暮らしに役立てられています。

財団法人 日本宝くじ協会